

國安寺だより

「仏教のまごころを、あなたへ」

願以此功德

がんにしきどく

Vol.14

いこう告げられました。

初めは世界中の御先祖様というフレーズにピンときませんでしたが、私たちがいつも行う勤行にこの「文があります。

うの話しそうに思っていませんか

私は思わず「いえ思つていません」と答えましたが、

師匠の言葉の本質は私が思

うそれとはまったく違つて

ました。

通常であれば、戦争はい

つ日本にふりかかるかわから

ない。とか、わが国が戦

争にならないためにどうす

べきか?といつた政治的な

話になるかと思います。し

かし師匠は気づけていない

私を見透かしたように続け

てこうおつしやいました。

「今我々がお勤めしている

功德は何もその方の御先祖

様や私たちの御先祖様にだ

け向けられたものではない

だろう。周りの方、あるいは

世界中の方の御先祖様にだ

け向けての功德であり、それ

なく一般の市民も犠牲になっ

ている。これらを海の向こ



心眼と金言

厳しい暑さが続いて居りますが皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか?

先日東京からお参りに来られた方も、日中は向こうと変わらないくらい暑いとおつしやつていました。そんな暑い日が続く中、ご先祖様へ感謝を捧げるお盆の季節が訪れました。

先日、師匠にこんなお言葉をいただきました。「未だ解決しないウクライナロシアの問題に中東の戦争、世界では兵士や役人だけではなく一般的の市民も犠牲になっている。これらを海の向こ

淨土真宗では私たちの功德ではなく、阿弥陀様の本眼力を信じる心を抱いて欲しいと説かれています。安樂国（極樂淨土）におられる私たちの御先祖様への感謝、そして生きとし生けるものが皆すべて等しく淨土へ向かえるよう、日々お勤めを続けたいと思います。

お盆の八月、感謝の八月。師匠の有難いエールを胸に今年もお参りをさせて頂きますので、皆様どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

お盆の八月、感謝の八月。師匠の有難いエールを胸に今年もお参りをさせて頂きますので、皆様どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

院代 隆道 合掌

